

2026 年 3 月期 第 3 四半期決算説明会 議事要旨

日 時 : 2026 年 1 月 30 日 (金) 18:00 ~ 18:30
登壇者 :

取締役 (兼) 執行役員CFO (兼) CCO (兼) コーポレート部門長	渡辺 聡
執行役員CFO代行 (兼) 経営企画部長	日置 敬介
財務経理部長	岸部 茂実

用語 : CL=カーライフ

Q : 第 3 四半期の税後利益は、当年度計画比 70%、前年同期比 20%減益となっており、また実質キャッシュ・フローも前年同期比で減少しているが、どのように認識されているか。併せて、通期計画未達リスクの有無についても教えてほしい。

A : 第 3 四半期の計画は非公表であるが、税後利益 111 億円は計画を達成している。当年度計画比 70%の進捗は、期間進捗率平均値 75%と比べると低い水準ではあるものの、LP ガス事業は冬場に需要が高まる傾向であることから、通期計画達成に向けて、現時点では順調に推移している。

Q : CL 事業が減益となっているが、自動車ディーラー事業における新型車投入に伴う車両販売台数・利幅の回復見通しや、石油販売事業における市況悪化に伴う利幅減少の先行きについて教えてほしい。

A : CL 事業の減益は、期初計画通りの水準である。今後は、日産自動車(株)における新型車の開発・投入による販売台数増加を通じた増益を見込んでいる。また、石油販売事業における利幅減少については、競争環境の激化や価格交渉の厳しさが続いている状況ではあるものの、現在の状況が続くことは想定していない。

Q : 暫定税率撤廃の影響について。

A : 顕著な形で影響は出ていない。

Q : WECARS の現状及び黒字化の見込、CM による来店数や売上高への影響度について教えてほしい。

A : 赤字ではあるものの業績は増益傾向で推移しており、CM による認知度向上を背景に、売上高や買取台数、来店客数は増加している。

Q : 電力小売事業の高圧販売が大きく伸びている一方、供給件数が減っている理由について教えてほしい。

A : 営業努力により電力使用量の大きい法人顧客向け高圧販売の拡大が進む一方、電力使用量の少ない個人顧客の流出が進んだことから、販売電力量は増加したものの、供給件数は減少している。

以上